

Review

特別養護老人ホーム
ヘルパー
誤嚥しやすい方やいつ飲み込んだかわからない方の食事介助が楽になりました。

病棟 リハビリ科
言語聴覚士
入院患者様の食事リハなど残留や誤嚥をしにくいポジショニングに使っています。

特別養護老人ホーム
言語聴覚士
感染症対策が重視されている中でこれはありがたいです。訪問の先生とも情報共有できます。

「Youtube ごっくんチェッカー」でユーザー様からのお役立ち情報もぜひご覧ください。

介護老人保健施設
作業療法士
食事の1分程度でビデオも録画しながら波形解析します。特に食形態検討に良いです

リハビリテーション科
医師
外来ではRSSTやMWST、またVFと同期して不顕性誤嚥の発見につとめています。

訪問管理栄養士
食形態を変えた時に咽頭残留の変化がわかりやすく、どの調理方法だとハードルが高いのか明確です。

療育センター
作業療法士
誤嚥しやすいので食事姿勢を調節する時や普段の上肢姿勢の確認で使っています。

訪問診療 歯科医師
VEを受けつけない方には特にごっくんチェッカーは役に立ちます。家族やスタッフにその場で状態を伝えやすいのも良いです。

訪問理学療法士
リハビリの際いつも持参しています。本人や家族にもわかるので、リハビリ意欲も増えています。

仕様・セット内容



ごっくんチェッカーDXと「MySwallow」セット内容

ごっくんチェッカーDX仕様

センサー：サイズ 直径30mm ケーブル長さ2.5m 表面材質アルミニウム
スピーカーアンプ：サイズ 高さ820mm 幅102mm 奥行160mm
重量300g 電源 単三電池4本
センサー装着用ネックベルト、アルミ製格納ケース



モニターディスプレイ

嚥下・呼吸機能波形解析ソフト「MySwallow」をインストール済の小型PC



ペアリング済のBluetoothキーボードと無線マウス

製品の仕様、仕様は各メーカーの都合で変更される場合がございます。

《製造元》
株式会社ハッピーリス *happyris*
東京都大田区本羽田2-12-1
本製品の技術お問い合わせは
carereco@happyris.com FAX 03-5879-4261

《正規販売代理店》
株式会社カタマチ KATAMACHI
東京都世田谷区玉川2-24-11-804
TEL 03-6411-7093 FAX 03-6411-7193
本製品の購入ご相談、見積依頼は
gockundx@katamachi.co.jp

気になる
飲み込みに

ごっくんチェッカー
DX

嚥下/残留/呼吸/咀嚼の状態を
見る、聴く、記録する

飲み込みが心配な方のために。摂食嚥下・食事介助に関わる職種の皆様に。
幅広くお使いいただいています

院内での診察・検査に
口腔ケアに



施設での食事介助に
食形態検討・栄養管理に



訪問診療・訪問看護
訪問リハビリに



訪問介護に



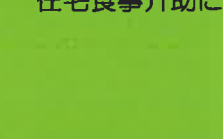
咽頭残留の喀出、
吸引タイミングに



食事姿勢・睡眠時姿勢
ポジショニングに
嚥下リハビリに



在宅食事介助に



お薬、飲みにくく
ないですか

マッサージ・鍼灸で



ごっくんチェッカーシリーズの情報は <https://gockun.com>



ごっくんチェッカーの
使用方法動画は
<こちらから

ごっくんチェッカーシリーズを お選びいただくポイント

音にならない圧の変動と、音の変動を一つのセンサーで採取。

解析ソフト「My Swallow」と連動させて、口腔から気管までの嚥下前中後の状態、誤嚥、残留を波形とテキストで可視化。

頸部に装着するだけの、身体的リスクのない嚥下評価が好評

一般的なスピーカーと比べ、小さな残留の音も聴き取りやすく、誤嚥が心配な食事介助を安心・スムーズに。肺雑音も聴取可能。

ごっくんチェッカーシリーズ機種種の「Smart Swallow®」が指定管理医療機器登録され、安全性を認められています。

新型コロナウイルスの流行でリモート化が加速し、DX（デジタルトランスフォーメーション）の時代に適した機能。



マイクでは採取することのできない誤嚥や、小さな残留の状態までとらえる高性能センサー。



センサー装着時に使うネックベルトも自社製ですので、小児用ベルトが必要な場合はサイズをお申しつけください。

ごっくんチェッカーDXはここが違う

従来のごっくんチェッカー



センサー用MIC IN 1
外部機器接続用LINE OUT 1

電池 006P型 9V 1個

ごっくんチェッカーDX



青色OUT

緑色OUT

センサー用MIC IN 1
外部機器接続用機能別LINE OUT 2
Bluetoothによる音声送受信機能内蔵



電池 単3電池 4本

従来のごっくんチェッカーではMy Swallowなど外部機器に接続して測定またはイヤホンを接続すると、スピーカーから音が出ない仕様になっています。

ごっくんチェッカーDXではOUT端子が2chあり、一つはごっくんチェッカー同様外部接続をするとスピーカーから音が出なくなり、もう一つはMySwallowで測定をしながらでもスピーカーから音が出ます。

ごっくんチェッカーDXではBluetooth送受信機能を追加。有線/無線のどちらでも使えます。有線が邪魔な場所で便利です。（ただし有線での使用時に比べ無線の方が波形が小さくなります。）

浜松市リハビリテーション病院 病院長
日本摂食嚥下リハビリテーション学会 理事 藤島 一郎 先生



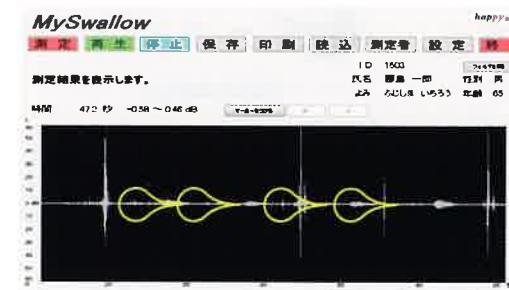
（株）ハッピーリス（吉田理恵さん）の開発した「ごっくんチェッカー」はVE・VFでなければ観察できない患者の咽頭残留や誤嚥を侵襲性なく推測する機器です。頸部で雑音なく効率的に咽頭腔の空気の流れを流動圧の変化として捉えるもので、2018年の摂食嚥下リハビリテーション学会で私が報告いたしました。当病院でも臨床評価の一環で利用しております。精度の問題、波形の解釈の学習、簡便性にはまだ課題はありますが、リモート診療が問われる昨今において今後の新しい運用モデルにもなりうるかと思えます。

嚥下の強弱、残留、誤嚥を波形で表現するMY SWALLOW®

嚥下評価のための解析ソフト「My Swallow」は、圧と音の両方の情報を高速解析する、ごっくんチェッカーシリーズ専用のソフトです。聴診器やVE、VFでわかりにくい誤嚥、唾液侵入、残留も可視化を実現しました。音も同時に録音されているため、音と波形が同期して再生されます。より精度の高い確認に。



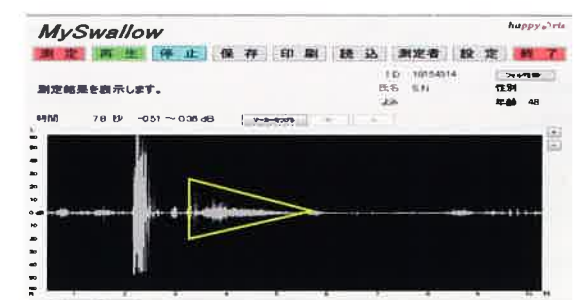
My Swallowで表れる波形パターンの例



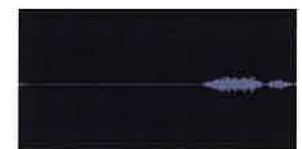
正常な呼吸と嚥下の波形パターン



弱い嚥下の例



咽頭残留のパターン



誤嚥の例

他にも使いかたはいろいろ

RSST



オーラルディアドコネシス



咀嚼回数



従来のごっくんチェッカーをご使用中の場合は「MySwallow」PCセットのみ追加することで本システムをお使いいただけます。



VFと同期

「MY SWALLOW」は、専用のPC+ディスプレイにインストールされています。このセットをごっくんチェッカーDXに接続して使用します。

